

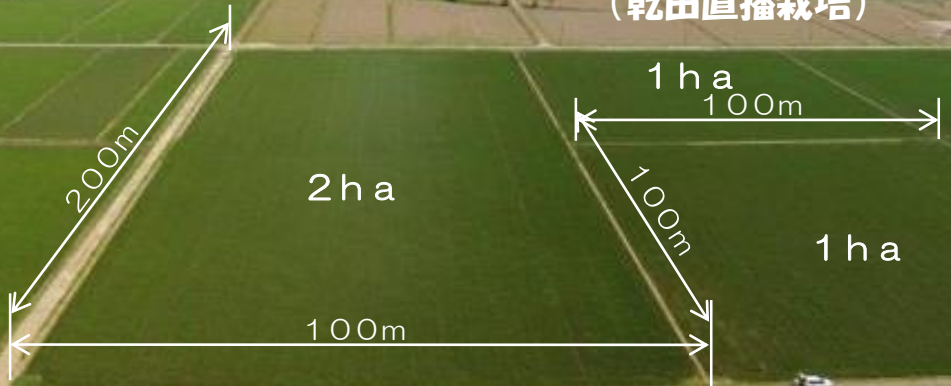
～ 生産性と収益性の高い土地利用型農業の実現 ～

新たな標準区画 (2ha区画)

～モデル地区の実証事例～

用水・排水管理が
すごく楽

大型機械を導入でき、省力化が図られる
(乾田直播栽培)



岩沼地区
(岩沼市)

ドローンによる
効率的な防除作業

トラクターも走行
可能な広幅畦畔

2.5m

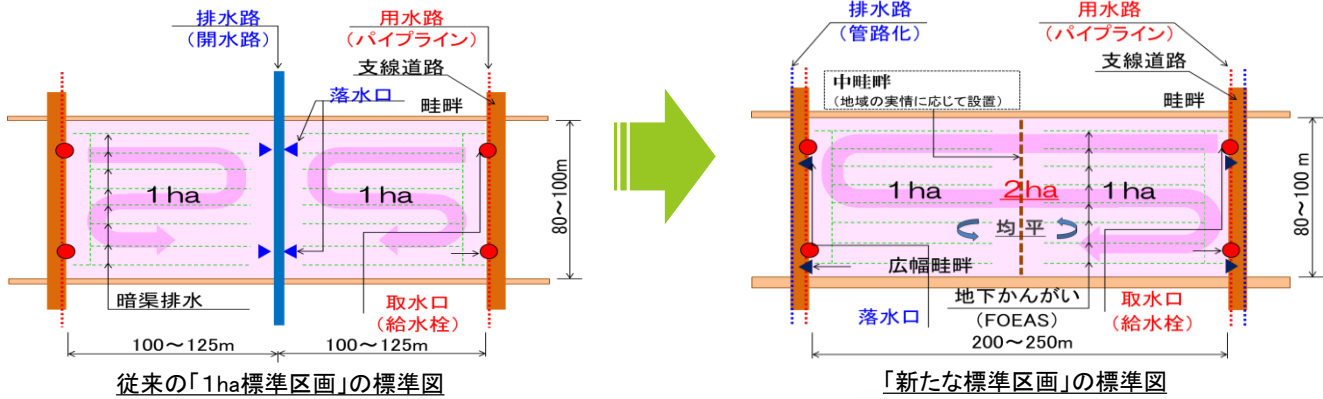
宮城県では、平成23年10月に策定した「みやぎの農業・農村復興計画」を踏まえ、「市町の復興計画」等との整合を図りながら、単なる原形復旧にとどまらない新たな時代の農業農村整備モデルの構築に向け、競争力のある農業経営体の育成を目指しています。

このため、東日本大震災復興交付金を活用した県営農地整備事業の実施地区では、更なる生産費の低減に向けた「新たな標準区画」を導入しています。



I 「新たな標準区画(2ha区画)」とは

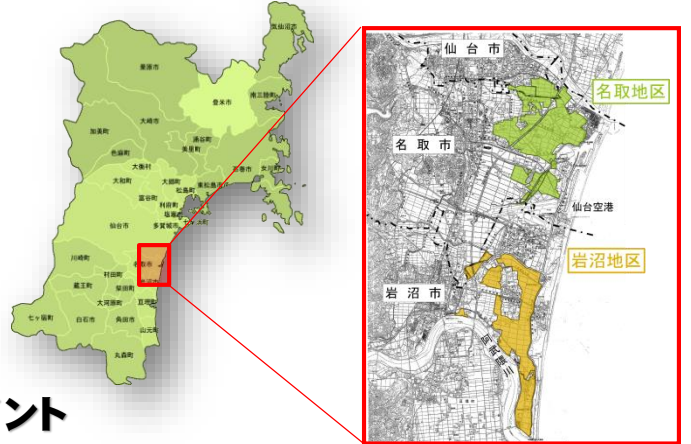
- ①導入目的 新たな標準区画は、新しい営農方式への移行に合わせた「経営体の規模拡大への誘導」と、営農方式、経営状況の変化に対応した「区画形状・区画面積の自在化」の2点を目的としています。
- ②設計思想 現在の農業用機械装備に対応しながら、将来の農業用機械の性能向上や乾田直播栽培のような省力的営農技術への移行を見据えた設計としています。



③「新たな標準区画」の導入地区

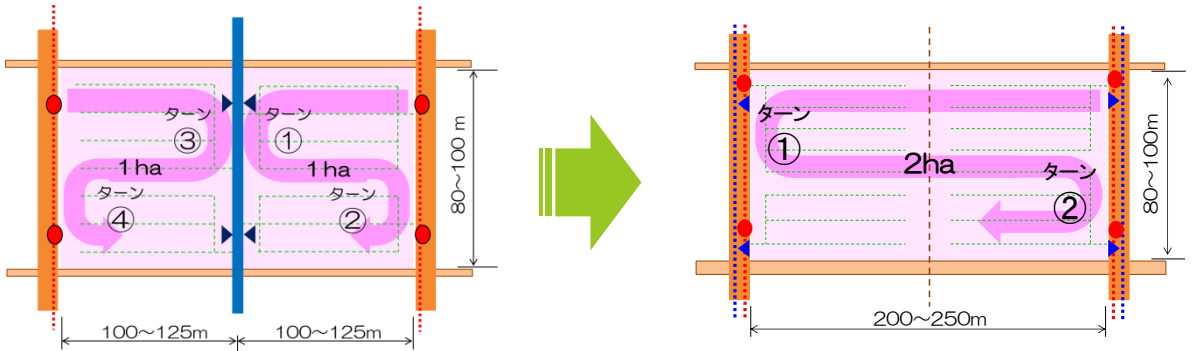
岩沼地区(岩沼市), 名取地区(名取市)
(次の要件を満たしたほ場で導入)

- 対象 東日本大震災復興交付金事業で実施する全地区
- 要件
 - ・地形や土壌などの自然条件等が合致
 - ・地元との合意形成が可能
 - ・従来以上の更なる低コスト化に向けた大規模な土地利用型農業が展開できる

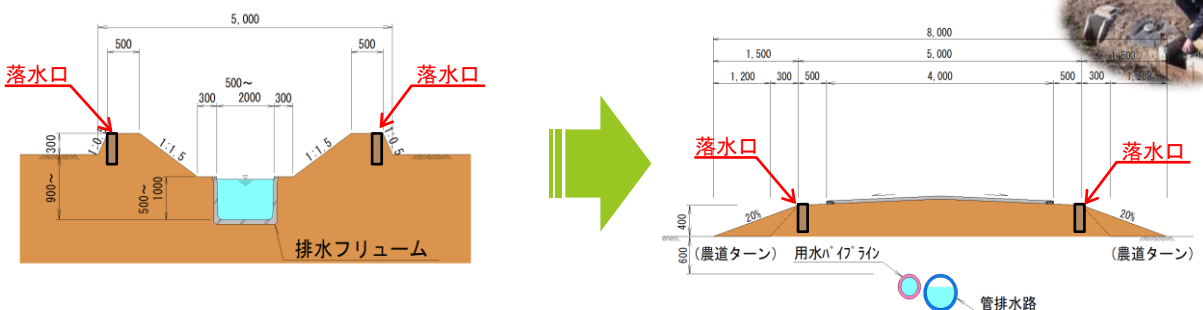


II 「新たな標準区画(2ha区画)」のポイント

- ①区画形状の工夫 新たな標準区画(2ha区画)は
○長辺の長さを従来の100m~125mから200m~250mとすることにより
→ターンの回数が減少することで、作業効率が向上している。



- ②排水路の工夫 新たな標準区画(2ha区画)は
○排水路を管路化し、支線道路の下に配置することで、落水口が農道側に設置されることにより
→給水・排水操作の両方を農道側から行えることから、水管理作業が軽減される。



さらに・・・

○可能な限り隣接する耕区と田面高を同一にした均平区を設定していることから

→中畦畔の撤去や長辺方向の畦畔を簡単に撤去することが可能となっているので、4ヘクタール、さらには6ヘクタールと、耕作する経営体の規模に合わせて区画を容易に拡大することが可能。



III 「新たな標準区画(2ha区画)」の2つの効果

効果算定に用いた数値等

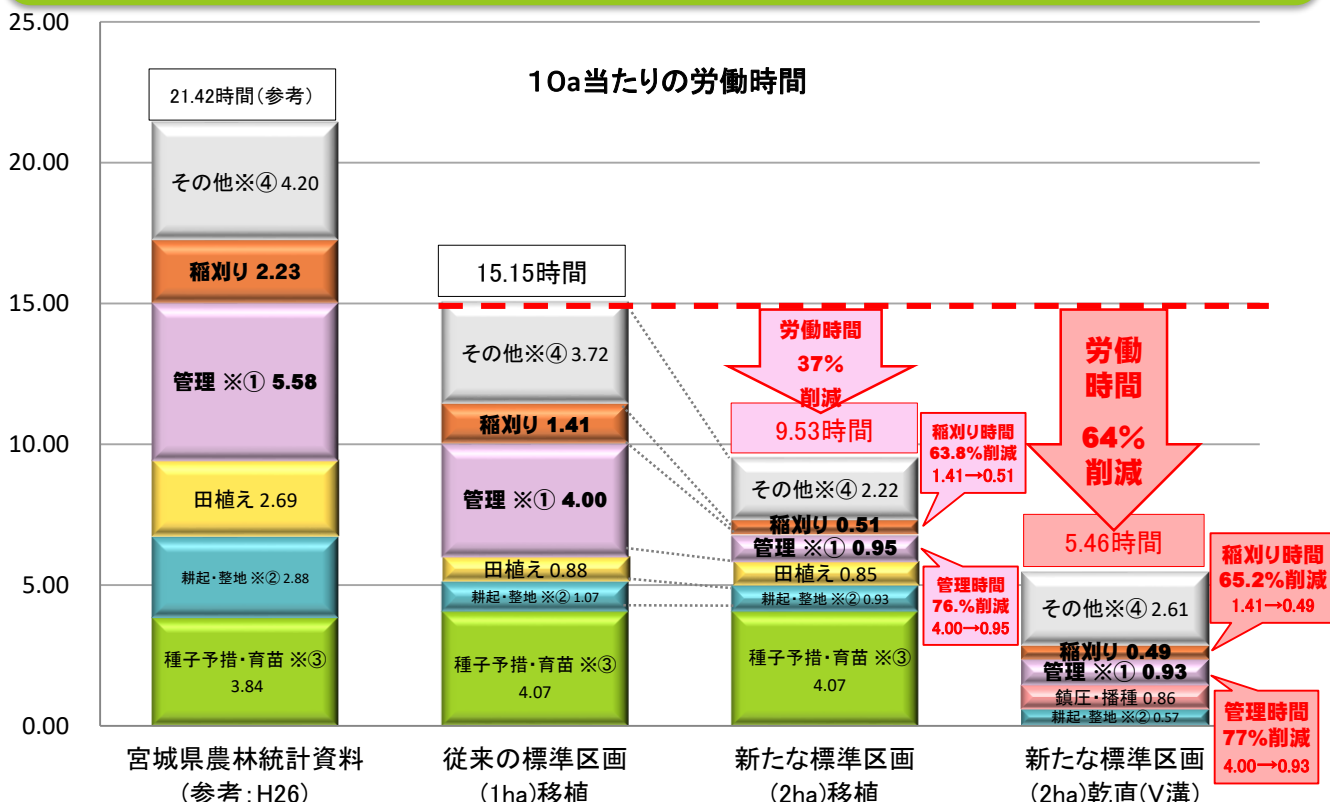
各種統計データ(図表注釈参照)のほか、岩沼市H農業生産法人(経営面積60ha規模)におけるモデル地区のH28実証調査結果に基づいたもの。

○効果算定に使用した、ほ場形状・田植え作業別の使用機械及び負担面積

区分	トラクター	田植機・播種機	コンバイン	負担面積	備考
従来の標準区画(1ha)移植栽培	40ps	6条植え	4条刈り	25ha	負担面積は標準的な左記の機械を最大限利用
新たな標準区画(2ha)移植栽培	76ps	8条植え	6条刈り	47ha	負担面積は上記を基本値として能力比率で補正
新たな標準区画(2ha)乾田直播	76ps	V溝, 53ps	6条刈り	33ha	負担面積は2ha区画で移植と組合せて行なう場合

【効果1】 労働時間の削減

従来の1ha標準区画(事業計画)と比べて、
「新たな標準区画(2ha区画)」の移植栽培では**37%の削減**
「新たな標準区画(2ha区画)」の乾田直播栽培では**64%の削減**



※①管理: 水管理時間+畦畔等草刈り3回の時間+作柄見回り時間で、従来の標準区画(1ha)の水管理時間は、宮城県営農指標による。移植及び乾田直播の水管理時間は、農地整備により集団化された営農区域での調査結果による。

※②耕起・整地: 2ha区画以上は、レーザーレベラーによる均平3年に1回有り。

※③種子予措・育苗: 移植の育苗時間は、宮城県農林統計H22~H26の5ヶ年平均時間。

※④その他: 施肥+追肥+防除+乾燥+生産管理+間接労働時間等を含む。

【効果2】経営規模拡大の可能性

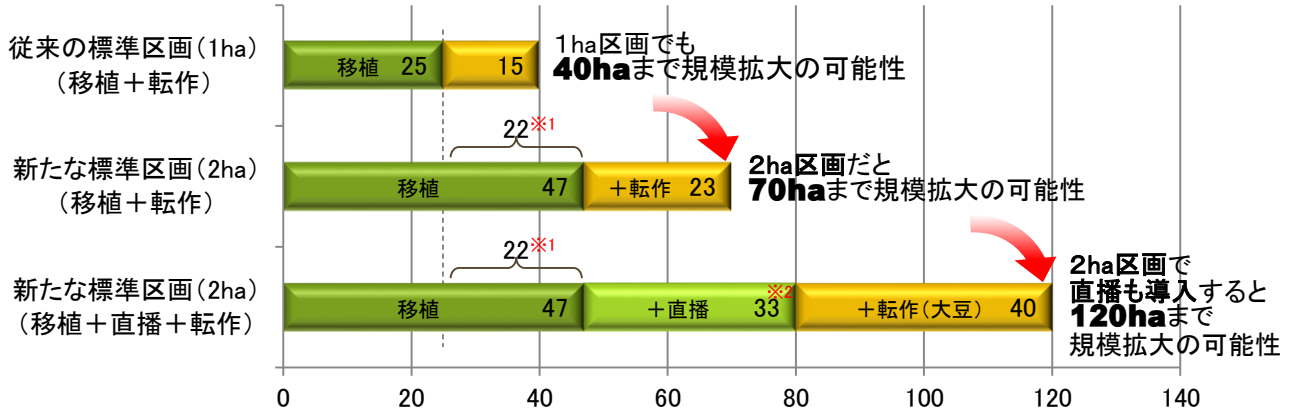
転作率を宮城県平均値である約3割と仮定した場合、

「新たな標準区画(2ha区画)」の移植栽培では **75%増**の見通し(経営規模 40ha⇒ 70ha)

「新たな標準区画(2ha区画)」の乾田直播栽培では **200%増**の見通し(経営規模 40ha⇒120ha)

岩沼市H農業生産法人(経営規模60ha規模)調査結果をベースに試算したもの

○経営面積拡大の見通し(1台の機械を最大限利用した場合の負担面積に基づく試算) 単位:ha



※1 移植栽培において、区画拡大(1ha→2ha)に伴う労働時間削減や、機械の大型化に伴う作業効率向上により、規模拡大が見込まれる面積
 ※2 2ha区画において、移植栽培との組合せにより実施が可能となる、乾田直播(V溝)導入時の負担面積

新たな標準区画



平成28年8月撮影岩沼地区(岩沼市)

問合せ先

宮城県農政部農地復興推進室 TEL:(022)211-2703 FAX:(022)211-2879 E-mail:nofukusui@pref.miyagi.lg.jp
 宮城県仙台地方振興事務所農業農村整備部 TEL:(022)275-9127 FAX:(022)274-5876 E-mail:sdsskt@pref.miyagi.lg.jp